

事務作業を
効率化

岐阜県中央会では、岐阜県より補助を受け「バックオフィス業務等DX導入支援事業」に取り組んでおります。

こんなお悩みありませんか？

そもそもDXって何？

DXって何から手をつければいいの？



Before

DXアドバイザーが解決します

DX化により

- ・業務効率の向上
- ・コスト削減
- ・データの一元管理
- ・意思決定の迅速化
- ・ペーパーレス化
- ・業務プロセスの可視化
- ・顧客対応の向上

等々が実現します。



After



日頃の業務の中で、お困りごと・お悩みごと、なんでも結構です。
専門家 (DXアドバイザー) による無料相談を承っております。

まずは、お気軽にご相談ください。

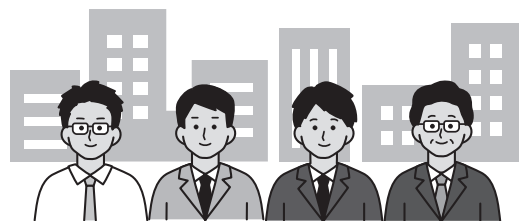
無料相談

受付中

ご相談窓口

岐阜県中小企業団体中央会内
TEL: 058-277-1104

DXアドバイザーはこんな相談に対応しています！



DXアドバイザー

税理士法人長尾会計

代表社員 長尾 博

Office ASADA

代表 浅田 正二

ITデザイナー

石井 克成

オフィス鈴木

代表 鈴木 顕

【クラウド型の販売管理ソフトの導入事例】

既存の販売管理システムの最大の欠点は、データ連携に必要な「データ」を掃き出すことが出来ない点にあった。顧客ニーズや売れ筋を正確に把握するには、データをExcel等で分析・解析することは必須であり、事業者の大きな課題でもあった。そこで、導入に伴う負担が少なく、トライアルによる試行作業も可能なクラウド型の販売管理ソフトを提案。トライアル版を体験いただくなど導入をサポートした。中小企業に必要なデジタル投資は、安価・即効性・連携の3要素が求められ、大規模な設備投資は不要である。まずは迅速に行動し、試してみ、データ連携による幅広い活用を模索することが重要であり、今回のクラウド型の販売管理ソフトの導入こそ、まさに「スモール・ウイン」の典型的な導入事例である。

【クラウド勤怠管理システムの導入】

事業者からの相談当初においてはクラウド型は検討されていなかったが、導入コストも抑えられ、セキュリティ対策もしっかりしている点などを説明した結果、サポート体制が充実しているクラウド型勤怠管理ソフトを選択。支援にあたっては、事業者の要望に基づき、複数システムの比較表を作成して事業者のニーズに合うソフトを提案したほか、見積内容の確認などを実施した。タイムカードによる時間管理と比較すると集計時間は半減し、給与計算にかかる時間は1/3程度になると想定している。

【RPAによるルーティン業務の効率化】

事業者は、毎日出勤後に前日の生産状況を把握するため生産システムから数値を拾い出し、Excelシートに転記する作業を行っていた。しかし、生産品数の増大により作業負担が増加し、担当者が本来の業務に割ける時間が少なくなっていた。そこで、RPAツールを導入して生産品ごとの数値の拾い出しからExcelシートへの転記までの定型業務を自動化。担当者が本来の業務に集中できる体制を構築した。今回のRPA導入により担当者の業務効率化が図れただけでなく、社内で行われている他の定型業務の自動化や作業自体の見直し、改善のきっかけにも繋がった。

【DXに向けた課題抽出と優先順位の明確化】

事業者より、「DXの必要性は感じているが、何から手をつけてよいかわからない」との相談を受け、まずはヒアリングを行った。DX推進には、実際にクラウドツール等を使用するスタッフ自身にその必要性を認識してもらう必要がある点を説明し、スタッフのDXに対する意識を確認するためのアンケートを実施。そして、アンケート結果を取り纏め、各スタッフが抱える課題を明確にし、課題解決にかかるコストや難易度などから対応する優先順位を明確にし、DX推進プロジェクトの立ち上げを支援した。

【デジタル化・DX推進 相談申込書】

会社名／事業者名			
担当者名		連絡先	- -
●相談事項を簡潔にご記入ください。			

〈058-273-3930〉にFAXしてください。DXアドバイザーより連絡いたします。